

症例報告

乳がん EC 療法におけるオランザピン前日投与の有用性に関する検討

1. 研究の概要

東北労災病院では、既存の診療情報を用いて、乳がん患者に対する EC 療法におけるオランザピン前日投与の有用性を後方視的に観察研究にて実施します。本研究では、エピルビシン投与後 24 時間以内の完全嘔吐抑制率および悪心発現までの時間を評価します。

2. 研究対象

2022 年 5 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに、東北労災病院で早期乳がんに対して EC 療法または dose dense EC 療法の 1 コース目を入院で施行した患者さんのうち、診療録より制吐薬の使用状況を確認できる方を対象とします。なお、2022 年 5 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日まではオランザピン未使用例、2023 年 10 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までは EC 療法前日にオランザピンを投与された症例を対象とします。

3. 研究方法

診療録に記載された情報を用いた後ろ向き症例報告です。

4. 利用する情報

年齢、BMI、喫煙歴、飲酒習慣、乗り物酔い、つわり歴、化学療法レジメン、制吐薬の使用状況、嘔吐の有無、追加制吐薬使用の有無、悪心発現までの時間、オランザピンに関連する眠気、減量、中止の有無など、診療録に記載された情報を利用します。

5. 研究期間

研究実施許可日から 2027 年 3 月 31 日までです。

6. 個人情報の取扱い

研究に用いる情報は、氏名等の個人を直接特定できる情報を除いたうえで取り扱い、研究責任者が適切に管理します。研究成果を公表する場合も、個人が特定されることはありません。

7. 研究組織

研究責任者:熊谷 史由

所在地:981-8563 宮城県仙台市青葉区台原 4 丁目 3-21

電話:022-275-1111(代表)

8. 問い合わせ

ご自身の情報が本研究に利用されることを希望されない場合は、下記連絡先までお申し出ください。可能な範囲で研究利用を停止します。なお、すでに解析や公表が終了している場合は、対応できないことがあります。これは診療上の不利益につながるものではありません。

問い合わせ先

東北労災病院

所在地:981-8563 宮城県仙台市青葉区台原 4 丁目 3-21

電話:022-275-1111(代表)

研究代表者:薬剤部 熊谷 史由(くまがい ふみよし)